

○設置位置付け

- ・都市公園法に基づく都市公園
- ・公園種別は地区公園

地区公園とは 主として徒歩圏内に居住する人の利用に供することを目的とした公園で標準的な面積は4.0ha

○運営体制

- ・指定管理者制度により、公益財団法人相模原市まち・みどり公社が管理運営
- ・配置人数（非常勤含む、季節、時間帯により変動）
 - 管理事務所：3～4名（所長含む、管理全般、運動施設受付）
 - 公園作業員：2名（園内施設現場管理）
 - 児童交通公園：1～2名（カート等貸出受付）

○利用状況（H29年度）

- ・野球場 11,000人/年 利用率52% ■
- ・テニスコート 27,500人/年 利用率96% ■
- ・児童交通公園 77,600人/年

（野球場は12月から3月の冬季が閉鎖期間となっており、利用率の対象外となります）



事業実施状況

学びの場

交流の場

《指定管理者自主事業》

《協力事業》

児童向け

【走り方教室】
3回/年
走り方のコツや練習方法
を学ぶ

【ヘキサスロン教室】
1回/年
運動発達に必要な基本
動作を楽しみながら身
につけられる遊びプロ
グラム

【交通安全教室】
1回/年
警察署の協力のもと、
交通ルールやマナーを
学ぶ

【D52運転席公開】
1回/月
保存会の協力のもと、
普段は入れない運転席
へ入り、機関車を身近
に感じる

【お花見紙芝居会】
市立図書館主催によ
る事業

図書館との連携事業

【さくらまつり】
地元実行委員会主催に
よる事業

【大野北銀河まつり】
地元実行委員会主催に
よる事業

一般向け
(大人向け)

【寄せ植え教室】
1回/年
寄せ植えのポイントや
植物の育て方を学ぶ

《事業実施の様子》

《指定管理者自主事業》

・走り方教室の様子



・ヘキサスロン教室の様子



《協力事業》

・大野北銀河まつりの様子



利用者の意見

《H29年度に公園利用者アンケートを実施》

- ・利用者の動向把握のために、11月の平日及び休日の午前7時～午後6時半に、回答者による用紙への直接記入により実施
- ・鹿沼公園を3つのエリアに分け、各箇所に職員を配置し実施
平日220人、休日206人、計426人から回答を得る

《集計結果の主な内容 選択回答項目》

年齢構成、来園手段、滞在時間等について

- ・30～49歳の親が未就学児や小学生を連れてくる親子連れが4割、70歳以上の方の利用が2割近くを占めた
- ・来園手段は徒歩が5割近くを占め、次いで3割近くが自動車での来園。休日は徒歩での来園が減り、自動車、公共交通機関が増える傾向
- ・滞在時間は30分～2時間の時間帯が6割近くとなり、休日は延びる傾向

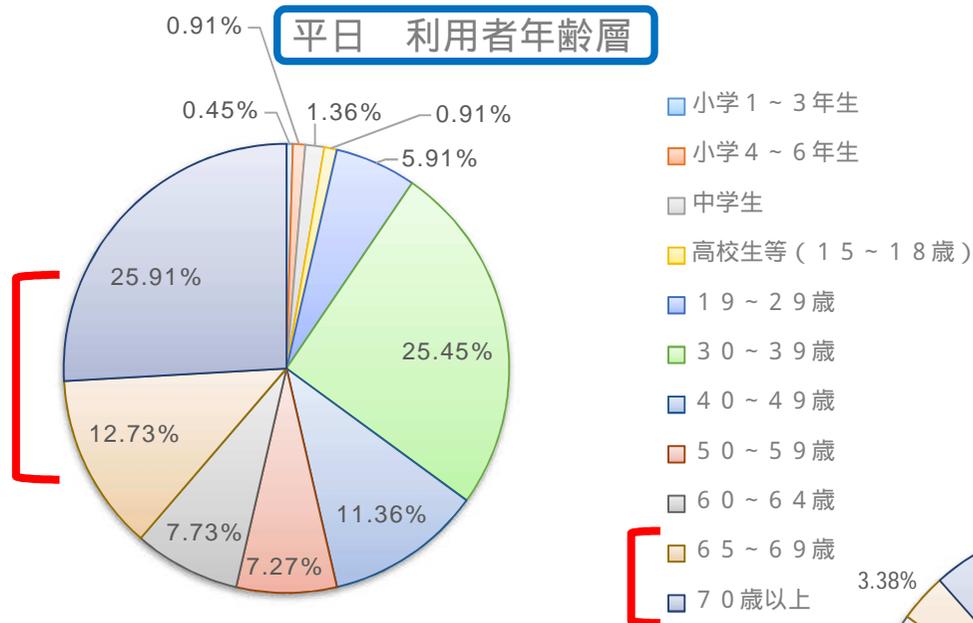
来園目的、利用頻度

- ・散歩、散策を目的とした利用が4割以上で、遊具や児童交通公園が目的も4割近くを占める
- ・利用頻度はほぼ毎日、週2～3日という高頻度利用が4割以上を占める

《集計結果の主な内容 年齢層に着目》

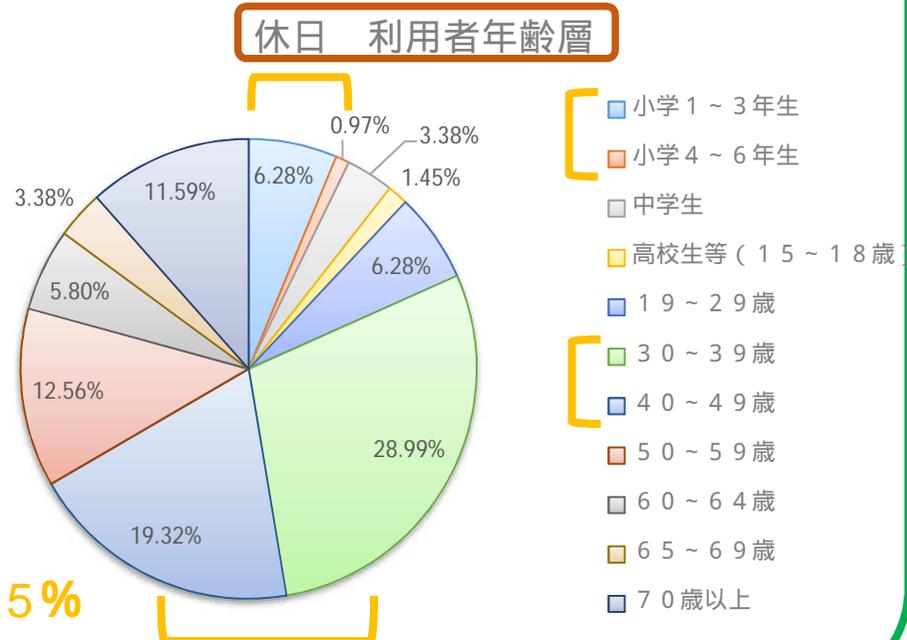
公園利用者の年齢層

平日と休日では違いがある



平日は65歳以上の方の利用が38%

休日は親子連れの方の利用が55%



《集計結果の主な内容 複数回答項目》

満足なところについて

- ・ 「児童交通公園がある」、「公園が広い」、「駅に近い」、「四季が感じられる」、「遊具がある」の5項目が、回答者の3割以上の人からポイントを得る
- ・ 次いで、1割から2割のポイントを得たのは、「池や築山がある」、「樹木がたくさんある」、「白鳥が見られる」などの景観、自然系の項目が多く入る

不満なところについて

- ・ 4割近くの人が「特にない」を選択し、次いで「駐車場が狭く混雑する」が2割、「池が汚い」が1割となった

今後に期待したいところ

- ・ 2割以上の人からポイントを得たのは、「ゆっくり休憩できる場所」、「カフェなどの飲食できる場所」、「お弁当が食べられる芝生広場」などの静的施設への期待
- ・ 1割を超えたポイントを得たのは、駐車場や児童交通公園など既存施設のリニューアルに関する項目で、「雨天時にも利用できる施設」という現況にはない施設も1割を超えた

《満足なところ、不満なところのイメージ》

- ・ 児童交通公園の様子



- ・ 四季が感じられる



- ・ 白鳥池の白鳥



- ・ 道路での駐車場待ち禁止のお知らせ看板



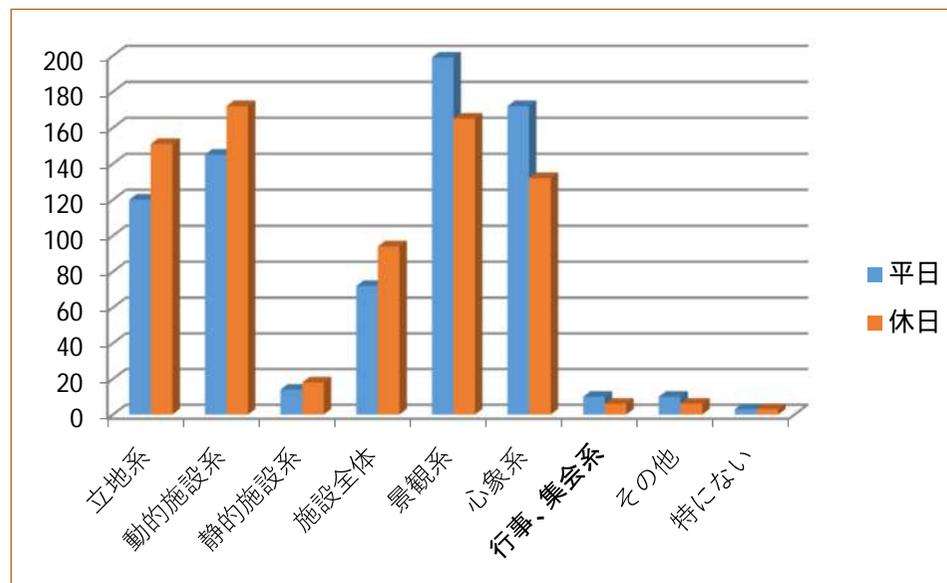
《集計結果の主な内容 -1 複数回答項目を分野に分ける》

満足なところ、不満なところ、期待したいところの項目を9つに分類

- ・ **立地系** : 「駅に近い」、「公園が広い」等
- ・ **動的施設系** : 「児童交通公園がある」、「遊具がある」、
「大きな遊具の設置」
- ・ **静的施設系** : 「ゆっくり休憩できる場所」、
「お弁当が食べられる芝生広場」、
「カフェなどの飲食できる場所」
- ・ **施設全体** : 「駐車場がある」、「雨天時に利用できる場所」、
「駐車場が狭くて混雑する」
- ・ **景観系** : 「池や築山がある」、「樹木がたくさんある」、
「桜がたくさんある」
- ・ **心象系** : 「四季が感じられる」、「ゆっくりできる」、
「安心して遊べる」
- ・ **行事、集会系** : 「イベントが開催される」、
「世代を超えて交流できる施設」
- ・ **その他**
- ・ **特にない**

《集計結果の主な内容 -2 分野ごとの比較》

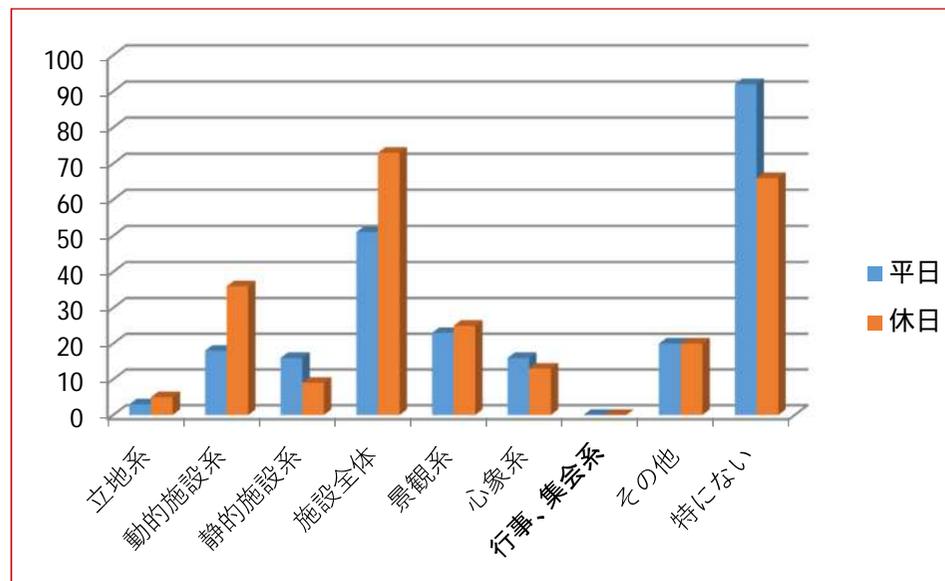
満足なところ



- ・ 景観系、次いで動的施設系への満足度が高いものとなった
- ・ 平日と休日を比較すると、平日は、池や樹木に対する満足度や四季への感情やゆっくりできるといった心が癒される心象系への満足度が高い
- ・ 一方、休日は児童交通公園や野球場（動的施設系）の利用が、駐車場の利用を伴い増えることから、駐車場のある公園（立地系）に対する満足度も高くなる
- ・ 平日、休日の利用者層の違いが満足度の傾向の違いに現れている

《集計結果の主な内容 -3 分野ごとの比較》

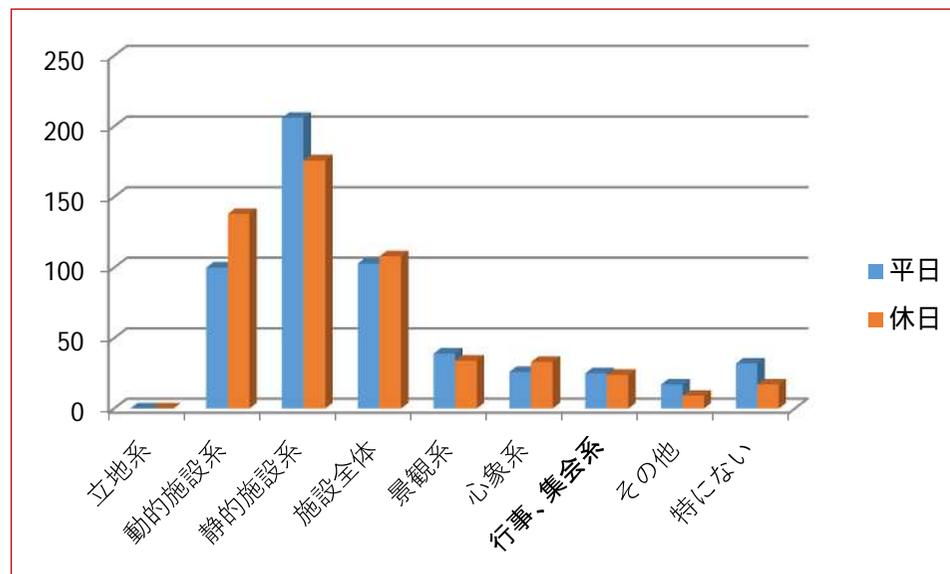
不満なところ



- 上位を占めたのは、平日、休日ともに「特になし」となり、現状肯定の考え方が多いと思われる
- 平日に多い散歩、散策利用の上では、公園の現状に大きな不満がない傾向と思われる
- 次に多かったのは、施設全体で、この多くは駐車場が狭く、混雑することに対する不満であり、駐車場利用が増える休日に高くなる
- 休日に動的施設系への不満が高くなるのは、児童交通公園で貸し出す豆自動車やカートの不足に対するもの

《集計結果の主な内容 -4 分野ごとの比較》

期待したいところ



- ・ 上位を占めたのは、**平日、休日ともに静的施設**で、ほとんどが、ゆっくり休憩できる場所やお弁当を食べられる芝生広場など**休憩できる施設を求めている**ことがうかがわれる
- ・ 次いで、動的施設系では、**児童交通公園とほぼ並び遊具への期待値が高い**ことがうかがわれる
- ・ 不満なところでは「特にない」が多かったが、連動して多いわけではなく、**現状肯定ながら何らかの期待感を持って利用している**ことがうかがわれる
- ・ 施設全体系統では駐車場が、不満なところと連動し高く、**利用しやすい駐車場への期待が大きい**ことがうかがわれる

働いている人の意見

《良いところ》

- ・ 地域の方に愛されている公園
- ・ 多くの方に利用されている公園
- ・ D52保存会の方が熱心に活動してくれている



《困っていること》

- ・ 駐車場、駐輪場の不適正利用
- ・ 自転車の公園内乗り入れ走行
- ・ 公園施設の老朽化
- ・ 樹木の高木化と老木化



《よくある苦情》

- ・ 児童交通公園での対応トラブル
- ・ 駐車場、駐輪場への苦情
- ・ 自転車の公園内往来
- ・ 野球場保守時のトラクター騒音や打球のネットオーバー